

別記様式

		担当課	生涯学習課
会議の名称	第3回 鴻巣市立図書館協議会		
開催日	令和6年3月8日(金)		
開催時間	午前10時00分 開会 ・ 午前11時35分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎3階 303会議室		
議長(委員長・会長)氏名	委員長 奈良 高男		
出席者(委員)氏名(出席者数)	奈良高男 田中さえり 森田文江 平野康子 新井守夫 八馬武徳 金子康子 中島規夫 (8名)		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	齋地 満 新井みほこ (2名)		
事務局職員職氏名	鴻巣中央図書館館長 吹上図書館長 川里図書館長 教育部参事兼生涯学習課長 生涯学習課主査 生涯学習課主任 TRC埼玉	安藤禎洋 田多和樹 保坂彩子 高橋和久 小山文代 應本麻衣子 遊馬雅子	
傍聴の可否	可(0人)		
会議の内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事内容 (1) 令和5年度事業計画進捗状況報告 (2) 令和6年度事業計画報告 (3) その他 4. 連絡事項 5. 閉会		
	【質疑応答、決定事項等】 1 令和5年度事業進捗状況報告について事務局から説明を行った。委員からは次のような意見があった。 ・各館で、①特に好評だったもの ②良くなかったものを教えてほしい。 ⇒鴻巣中央：①作家講演会 ②不評という訳ではないが、コロナ明けで子ども達の活動様式が変わったのか、コロナ時に1時間で参加申込の受付が終了していた子ども向け事業が、今年の5月以降は定員に達するのに1週間程度かかっている。 吹上 ：①吹上中学校「POP制作出張授業」、本のおたのしみ袋 ②大人の社会科見学 川里 ：①川里寄席、読書deビンゴ等子ども向けイベント ②電子図書館を使ってみよう		

会議の内容

- ・図書館は利用者にとって受け身の場所だと思っていたが、「調べる学習」や「ビブリオバトル」など能動的で、子どもの成長にとっても良いと思った。
 - ・図書館に来られない人のためにも電子図書館をより広めてほしい。
 - ・電子図書館の講座に参加したが、電子図書館は読みたい本を調べやすいと思った。ただし、電子図書館はWi-Fiがないと使いづらい。また、読みたい本がなかなかみつからない。蔵書数、新刊を増やしてほしい。
 - ・ナクソスミュージックライブラリーはスマホ対応しているのか。
⇒パソコンのみで利用可能。
 - ・各事業の活動や電子図書館のポスターを通路側に貼る等、外部に向けて目につく形でのPRをよく行っている。
 - ・電子図書館について、高齢者向けに、スマホの使い方講座とタイアップして電子図書館の利用案内をしたらどうか。
 - ・電子図書館を使えるハードは何か。
⇒パソコン、スマホ（タブレットも可）
 - ・学習用端末を使い、屈巢小で電子図書館を利用したと聞いた。周知のために小学校や中学校への出前講座を行ってもいいのではないか。
 - ・電子図書館では一つの本を複数の人が見られるのか。
⇒アクセスは複数人可能だが、貸出していると他の人は見られない。
- 2 令和6年度事業計画報告について事務局から説明を行った。委員からは次のような意見が出た。
- ・吹上図書館で企画している読み聞かせボランティア等を対象にした専門家による「おはなし会講座」について、できるだけ多くの読み聞かせを行っている方に学んでもらうのが大切だと思う。ぜひ中央・川里でも行ってほしい。
⇒まず吹上で実施し、3館に広げていきたい。
 - ・イクメン向けの読み聞かせ講座が良いと思う。
 - ・令和6年度資料購入費は前年度比で伸びがあるのか。
⇒まだ正式決定ではないが、前年度ベースは維持できている。
 - ・各館の目玉事業を教えて欲しい。
⇒鴻巣中央：作家講演会
吹上：おはなし会講座、イクメン向の絵本読み聞かせ講座、ものづくり大学との共同事業
川里：一般向け講演会、りんごの棚
 - ・バリアフリー映画会に、もう少し障がいがある方に参加してもらえるよう工夫する余地があるのではないか。
⇒中央図書館で実施した際、社会福祉協議会に協力を依頼する時期が遅くなってしまい、十分な時間がとれなかったという事情がある。以前吹上で同様の事業を実施した際は10名くらい参加者があった。十分な時間をとる必要を改めて痛感した。
 - ・「暮らしの講座」について、内容が決まっていなければ防災講座をしてはどうか。
 - ・図書館だけで抱え込むのではなく、市役所内の担当部署に相談するなど、横のつながりも大切にしてほしい。

<p>会議の内容</p>	<p>3 その他 で令和6年度セカンドブック事業について事務局から説明を行った。委員からは次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学絵本は人気（特に男の子で好きな子が多い）。 ・令和6年度事業計画にあった「サードブックリスト発行」とセカンドブックは別物か。 ⇒別のものと回答。 ・セカンドブックリスト備考欄にある「鴻巣」とはどういうことか。 ⇒鴻巣にゆかりのある内容の本や、作者が鴻巣出身の方の本を「鴻巣」枠として選定している。
<p>配布資料</p>	<p>1 次第 2 配布資料</p> <p>資料1 令和5年度事業計画進捗状況報告 資料2 令和6年度事業計画報告 別添資料 令和6年度セカンドブックリスト（案）</p>